

安全データシート

作成日 2023 年 1 月 5 日

改訂日 2025 年 1 月 15 日

1. 化学品及び会社情報

製品名 : 一般用全塩素測定 DPD 分包試薬
品目番号 : SE1024
会社名 : 株式会社タクミナ
住 所 : 大阪市中央区淡路町 2-2-14 (〒541-0047)
電話番号 : 06-6208-3971 FAX 番号 : 06-6208-3977
担当部門 : 緊急連絡先 : 品質保証部
電話番号 : 079-679-2215 FAX 番号 : 079-679-5775
推奨用途及び使用上の制限
: 水中の残留塩素濃度測定用

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 区分 2B
生殖毒性 : 区分 1B
生殖毒性・授乳影響 : 授乳に対するまたは授乳を介した影響に関する追加区分
特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分 2 (消化管、甲状腺)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 区分 2 (皮膚、甲状腺、全身毒性)

上記で記載がない危険有害性は区分に該当しない、または分類できない。

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語 : 危険
危険有害性情報 : 眼刺激
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
授乳中の子に害を及ぼすおそれ
消化管、甲状腺の障害のおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による皮膚、甲状腺、全身毒性の障害のおそれ

注意書き :

【安全対策】

- ・ 使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・ 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・ 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- ・ 妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。
- ・ 取扱い後は手をよく洗うこと。
- ・ この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・ 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

【応急措置】

- ・ 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・ 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
- ・ ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
- ・ ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
- ・ 気分が悪い時は、医師の診察／手当てを受けること。

【保管】

- ・ 施錠して保管すること

【廃棄】

- ・ 内容物／容器を国又は都道府県の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名	硫酸ナトリウム	リン酸水素二ナトリウム	N,Nジエチル-p-フェニレンジアミン硫酸塩	リン酸二水素ナトリウム	トランス-1,2-ジアミノシクロヘキサン-N,N,N',N'四酢酸一水和物	ヨウ化カリウム
化学特性 (化学式又は構造式)	Na ₂ SO ₄	Na ₂ HPO ₄	(C ₂ H ₅) ₂ NC ₆ H ₄ NH ₂ ·H ₂ SO ₄	KH ₂ PO ₄	C ₆ H ₁₀ N ₂ (C ₆ H ₄ COOH) ₄ ·H ₂ O	KI
官報公示 整理番号	化審法(1)-501	化審法(1)-497	化審法(3)-243	化審法(1)-452	記載なし	化審法(1)-439
CAS No.	7757-82-6	7558-79-4	6283-63-2	7778-77-0	125572-95-4	7681-11-0

但し、含有量は公開していない。

4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気の風通しのよい場所に移動し、鼻をかませ、うがいをさせる。必要に応じて医師の処置を受ける。

皮膚に付着した場合 : 多量の水で十分に洗い流す。

眼に入った場合 : 直ちに流水で 15 分以上洗い流す。コンタクトレンズは外す。必要に応じて医師の処置を受ける。

飲み込んだ場合 : 水または食塩水を飲ませて吐かせる。必要に応じて医師の処置を受ける。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項
: 個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水、粉末、二酸化炭素、乾燥砂、泡

使ってはならない消火剤 : 特になし

火災時の特有の危険有害性
: 火災により、刺激性ガスまたは有毒ガスが生成されることがあるの
で、必ず保護具を着用する。

特有の消火方法 : 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
移動不可能な場合、容器および周囲に散水して冷却する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
: 消火作業では、適切な保護具（呼吸用保護具、防護服、保護手袋、
保護眼鏡、保護長靴等）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
: 作業時には防じんマスク、保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を
着用し、飛散したものなどが皮膚に付着したり、粉じんを吸入しない
ようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように
注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しない
ように注意する。

封じ込め、浄化の方法及び機材
: 飛散したものを掃き集めて密閉できる空容器に回収する。飛散した
場所は水で十分に洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い :
技術的対策
・ 皮膚に付いたり、粉じんを吸入しないように必要に応じて適切な保護具を着用する。

安全取扱注意事項

- ・ 換気の良い場所で行う。
- ・ みだりに粉じんを発生させない。
- ・ 取扱い後は良く手を洗い、うがいをする。

保 管：

安全な保管条件

- ・ 直射日光のあたる場所や高温多湿な場所を避けて、冷暗所に保管する。

安全な容器包装材料

- ・ ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 : 設定されていない

許容濃度

ACGIH : TLV-TWA: 0.01ppm (0.1 mg/m³) (ヨウ化カリウム)

日本産業衛生学会 : 設定されていない

設備対策 : 取扱場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設ける。

保護具 :

呼吸器用保護具	防じんマスク
手の保護具	保護手袋
眼、顔面の保護具	保護眼鏡、ゴーグル等
皮膚及び身体の保護具	保護衣

9. 物理的及び化学的性質

物理状態、色 : 白色～薄紫色粉末

臭い : なし

沸点又は初留点及び沸点範囲 : データなし

可燃性 : データなし

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界

: データなし

引火点 : データなし

自然発火点 : データなし

分解温度 : データなし

pH : 6.0～6.8 (6mL に 1 包を溶解、20℃)

動粘性率 : データなし

溶解度 : 水に溶解する。

蒸気圧 : データなし

密度及び／又は相対密度 : 2.3g/mL (20℃) (主成分のリン酸二水素カリウムとして)

相対ガス密度 : データなし
粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 : 強い酸化剤と接触すると反応することがある。日光が当たると着色、固化する。
化学的安定性 : 通常の手扱いでは安定である。
危険有害反応可能性 : 通常の手扱いではなし。
避けるべき条件 : 日光、熱、酸化剤
混触危険物質 : 酸化剤
危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物、ハロゲン化物

11. 有害性情報

急性毒性 経口 : 計算結果が区分 5 に該当するが、対象国危険有害性区分補正処理により区分 5 から区分に該当しないに変更した。
経皮 : データ不足のため分類できない
吸入 (蒸気) : 既知の成分がすべて区分に該当しないため、区分に該当しないに該当するが、毒性未知成分が 0.1% 以上のため、区分に該当しないから分類できないに変更した。
吸入 (粉じん・ミスト) : データ不足のため分類できない
皮膚腐食性／刺激性 : 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないに該当するが、毒性未知成分が 0.1% 以上のため、区分に該当しないから分類できないに変更した。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 区分 2B の成分合計が濃度限界 (10%) 以上のため、区分 2B に該当。
呼吸器感作性 : データ不足のため分類できない
皮膚感作性 : 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないに該当するが、毒性未知成分が 0.1% 以上のため、区分に該当しないから分類できないに変更した。
生殖細胞変異原性 : 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないに該当するが、毒性未知成分が 0.1% 以上のため、区分に該当しないから分類できないに変更した。

発がん性	: データ不足のため分類できない
生殖毒性・授乳影響	: ヨウ化カリウムの含有量が 0.3%以上のため、授乳に対するまたは授乳を介した影響に関する追加区分に該当。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: 硫酸ナトリウムの含有量が 1%以上のため、区分 2（消化管）に該当。 ヨウ化カリウムの含有量が 1%以上のため、区分 2（甲状腺）に該当。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: ヨウ化カリウムの含有量が 1%以上のため、区分 2（皮膚、甲状腺、全身毒性）に該当。
誤えん有害性	: データ不足のため分類できない

1 2. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性（急性）	: 濃度限界（25%）未満のため、区分に該当しないに該当するが、毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更した。
水生環境有害性（慢性）	: 濃度限界（25%）未満のため、区分に該当しないに該当するが、毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更した。
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壌中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データ不足のため分類できない

1 3. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 多量の水で希釈してから廃棄する。又は都道府県知事などの許可（収集運搬業許可、処分業許可）を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。
- 汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送	: 規制されていない
海上輸送	: 規制されていない
航空輸送	: 規制されていない
国連番号	: なし
品名	: なし
国連分類	: 分類基準に該当しない
容器等級	: なし

海洋汚染物質	: 非該当
国内規制	
陸上規制情報	: 規制されていない
海上規制情報	: 規制されていない
航空規制情報	: 規制されていない
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策:	
	・輸送に際しては直射日光を避け、容器の破損、漏れなどがないことを確認する。 ・荷役作業は丁寧に行い、容器を破損しないように取り扱う。 ・転倒、落下、損傷、水漏れが無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法	: 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第 57 条、施行令第 18 条）（ヨウ化カリウム）
	名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2、別表第 9）（ヨウ化カリウム）
	2025 年 4 月 1 日以降
	名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 2 号～第 3 号、安衛則第 30 条別表第 2）（硫酸ナトリウム）
	名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第 57 条の 2 第 1 項、施行令第 18 条の 2 第 2 号～第 3 号、安衛則第 34 条の 2 別表第 2）（硫酸ナトリウム）
毒物及び劇物取締法	: 非該当
化学物質管理促進法（PRTR 法）	
	: 非該当
海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律	
	: 非該当

16. その他の情報

この安全データシート（SDS）は、JIS Z 7252 : 2019、JIS Z 7253 : 2019 に準拠し、作成時における最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂される事があります。また、SDS 中の注意事項は通常の取扱を対象にした物です。製品使用者が特殊な取扱をされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、当社は SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証する物ではありません。

※危険、有害性の評価は必ずしも十分ではない可能性がありますので、取り扱いには十分注意をお願い致します。

参考文献

JIS Z 7252 (2019) GHS に基づく化学物質等の分類方法

JIS Z 7253 (2019) GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)

安全衛生情報センター <http://www.jaish.gr.jp/>

NITE：独立行政法人 製品評価技術基盤機構

https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop

化学品の分類および表示に関する世界調和システム (GHS)

GHS 混合物分類判定ラベル/SDS 作成支援システム (NITE-Gmiccs)

経済産業省

原材料製造メーカーSDS
